

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



夜回り先生の
メッセージ

6月定例会のあらまし

詳細については12ページ

6月定例会は6月2日から9日間の会期で開催されました。
町長より議案10件、議員より発議案5件が提出され、審議した結果議案9件、発議案5件がそれぞれ原案のとおり可決され、議案第8号一般会計補正予算の中央公園再生事業（委託料及び工事請負費）については修正可決となりました。
一般質問は9名の議員が、2日間にわたり行いました。



6月定例会

小中学校耐震補強及び大規模改造工事請負契約についてなどを可決・・・P2

第5次総合計画の策定についてなど 行政報告・・・P5

町政を問う 議員9名が一般質問・・・P7~P12

中央台公園再生事業（委託料及び工事請負費）に関する減額修正案は賛成多数で可決されました

一般会計補正予算案を修正可決



これまで、3度にわたり否決された中川流域防災事業の調節池設置予定地（上岩橋地先）に係る土地鑑定評価の予算が審議され、可決されました。（写真は調節池設置予定地）

平成22年6月議会で可決された議案は次のとおりです

◆専決処分の承認を求めることについて

地方税法等の一部を改正する法律と、これらの法律に係る政令及び省令の公布に伴い、納税者に実害が及ばないようにするため、町税賦課徴収条例、町都市計画税条例、町国民健康保険税条例の一部をそれぞれ改正したことについて承認を求めるものです。

◆千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

組合を組織している市町村の配置分合により、組織団体の数が減少したことに伴い本組合の規約を改正するものです。

◆千葉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

千葉県後期高齢者医療広域連

合を組織する印旛村及び本埜村が印西市に編入されたことに伴い、広域連合を組織する地方公共団体の数が減少したため、議員の定数に関する規定を改正するものです。

◆印旛郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

組合を組織する印旛村及び本埜村が廃止され、印西市に編入されたことにより、組合の組織団体の数が減少したことに伴い、本組合の規約を改正するものです。

◆印旛利根川水防事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び印旛利根川水防事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

組織団体の数の減少に伴い、組合議員の定数・選出議員数・組合経費の平等割総額を改正するものです。

◆工事契約の締結について

尾上浄水場電気設備更新工事に、制限付き一般競争入札を実施した結果、千葉市の福井電気

株式会社と仮契約を締結し、また、小・中学校の耐震補強及び大規模改造工事について制限付き一般競争入札を実施した結果、横芝光町の株式会社畔蒜工務店と仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

一般会計

◆一般会計補正予算（第1号）

補正の主な内容は、子ども手当支給に関する事業費の整理、新公会計制度導入に向けた公有財産台帳の整備、酒々井小学校借地の購入、また施設設備の補修等、緊急性を伴う経費についての補正です。

人権擁護委員に

山崎 猛由氏

法務大臣から委嘱されている山崎猛由委員が、9月30日をもって任期満了となることから、千葉県地方務局長より後任の推薦依頼がありました。

人権問題に深い理解がある同氏を、再任として推薦するに当たり議会の意見を求められ、審議の結果適任と決定されました。

【報 告】

○一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

「小・中学校耐震化及び大規模改造事業」、「町内公共施設改修事業」、「酒々井ICアクセス道路整備事業」などの23事業について、翌年度に繰り越す額が確定したので報告するものです。

○下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について

「酒々井町公共下水道基本計画策定業務」について、予算繰越の処理を行ったので報告するものです。

議員発議によるもの

◇コメの戸別所得補償対策等の見直しを求める意見書の提出について

◇酒々井町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

◇酒々井町議会公印規定の一部を改正する訓令の制定について

◇義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書の提出について

◇国における平成23(2011)年度教育予算拡充に関する意見書の提出について

議案・賛成討論(要旨)

平澤昭敏議員

(議案第8号について)

中川流域防災事業は、地元住民から4度の請願があり、私も現場に行き、地元の大変さも十分に分かっている。予算化したので賛成である。また、中央台公園再生事業については、今年に入りハイチ等の世界各地で大地震が発生しており、近い将来には関東大震災と同規模の地震が起こるとも言われている。その時は酒々井町にも甚大な被害が及ぶと思われる。今回の提案の仕方については、町から反省の弁もあった。町全体のため、先々の住民の安全・安心なまちづくりのため、中央台公園の防災拠点づくりを進めていくべきである。

御園生浩士議員

(議案第8号について)

酒々井小学校の用地購入については、過去、議員や監査委員から再三指摘を受けており、借地を速やかに買収することが望ましい。年々の借地料が膨大な金額になっている。地権者に対し

し買収の理由を説明し、町民のため、子どもたちのために、地権者にとっては大切な土地であるが、売っていただけけるよう協力をお願いしたい。

越川廣司議員

(議案第8号について)

安全・安心のまちづくりの観点から見ると、中川流域防災事業についてはこれまで地元から4回の請願があったが、反対者は必要性を認めているものの、反対を重ねてきて今日に至っている。今日も地元の方々が傍聴にきており、行政は何度も反対されてきたが、地元の安全・安心を考え、今回土地鑑定料を計上した。

また、防災機能を備え、多目的利用ができる中央台公園再生事業は、まさに時を得た事業である。他市町村に先駆け、いち早く国庫補助事業を活用するなど、財源の確保を積極的に行ってきたことなどを含めて高く評価する。

議案・反対討論(要旨)

竹尾忠雄議員

(議案第8号について)

長い間県議会議員をされてきた蒔崇一氏が名誉町民となり、その式典を10月に開催するが、本人や参加者への記念品代として50万円の予算が計上されている。多くの町民が大変な暮らしを送る中で、蒔氏や式典に参加される方も、記念品を頂くという気持ちはないと思う。この50万円の予算は他に使われるべきであり、補正予算には反対する。

第8号に対する修正動議・賛成討論(要旨)

竹尾忠雄議員

(中川流域防災事業について)

今回出された土地鑑定評価の委託料は、これまでも3度否決された。中川の治水対策について、本当に調節池で対応できるのか。これまでの災害に私も現場で対応してきたが、非常に疑問である。多くの方から京成線路下の拡幅が必要との意見もある。何よりも治水対策は住民の合意があつて、広大な農地を買収することもできる。いくつかの問題があるなかで、今回の予算については修正せざるを得

ない。
原義明議員

(中川流域防災事業について)

中川流域住民の皆さんのご苦労は十分承知している。私も早く良き方向性で推進されることを望んでいる。試行錯誤の上、最善の策が調節池であればやさかでないが、将来のまちづくりのビジョンを想定すると、駅に近い場所を選定し、そこに固執することに疑問である。他にも適正な場所の検討や住民への説明責任を果たしながら、抜本的に再検討していただきたい。

地福美枝子議員

(中央台公園再生事業(委託料及び工事請負費)について)

コミュニティの場、また防災拠点として多目的機能を持つ公園整備と聞けば、反対するような事業ではない。しかし、自治体の防災対策で必要なのは、自治体と住民の協働によるものである。何が必要なのか、何を優先させるのか、よく話し合いをすることから、中央台公園の再整備の話が出てくると思う。この事業は町民にとって不要不急の事業ではないのか。防災と

いうのなら避難箇所はあちこちにある。そういうところに防災トイレを順次設置するなどして、も良いのではないのか。私達は今回の事業が駄目だと言っている訳ではない。予算の進め方、本当に防災のために一番に必要なものなのか、その判断が違うのではないか。

社会資本整備総合交付金の活用が一番に手を挙げて補助金をもらうことが、積極的だと言え、ばそうであるが、防災という点とであればやるべきことが他に

ある。この事業を今やらなければ補助金がもらえないという意見もあるが、もっと精査して話し合っ

て合意ができれば、次の機会に補助事業が活用できる機会がある。

竹尾忠雄議員
(中央台公園再生事業(委託料及び工事請負費)について)
事業が良い悪い以前の問題である。私達は町民の付託を受けて議員になり、町が提案したものが町民のために良いのか悪いのかをチェックするのだが、議員がこの事業について質問しても町は答えない。今回1、

800万円の補正予算が提案され、使い道は当然明らかになっているはずなのに、その根拠を聞いても答えない。まったく議会を侮辱している。防災とコミュニティの場というが、関わっている団体にも何ら話はなくて、突如としてこういう事業が出てきた。また、中央台の方の避難場所はプリミエール酒々井で、地震にも耐えられるものであり、当面差し迫って中央台公園を防災拠点として整備する必要があるのか。

**第8号に対する修正
動議・反対討論(要旨)**

御園生浩士議員
(中川流域防災事業について)
実際に大雨で困っている方がいるという事実があり、この修正案には反対する。この議論は、請願という形で住民等からいろいろ話を伺いながら今に至っている。溺れている人がいれば、手を差し伸べて助けるのが筋である。町民や議員は水害が発生することは承知している。ただ、やり方についていろいろな意見があるということで、何回もこ

の案が駄目になっている。現に困っている方がおり、これまでも何年にもわたり討議をしてきた。足がかりとなるこの予算を削除することには反対である。

齊藤博議員
(中川流域防災事業について)
土地鑑定をしないと正しい用地購入費が出せないで、こういうものに予算を使うことは結構である。また、この事業は既に3年が経過し、22年度は補助金がつく最終年度である。この事業は今まで町の予算だけでは出来ずに見送られてきたものであり、仮に補助金が無くなった場合、事業そのものが頓挫してしまう。今回、土地鑑定評価の委託料を認め、事業精査を行い、議会の議論を深め、合意できるような政策づくりに精進してもらいたい。

御園生浩士議員
(中央台公園再生事業(委託料及び工事請負費)について)
町総合計画の中の地域活性化の拠点となるコミュニティの場、災害発生時の避難場所など、多目的機能を有する公園整

備にこの事業が該当する。また、中央台公園は、災害時に本部となる役場や保健センター等と隣接していることから、災害時に活用ができ、普段は町民のコミュニティの場としても活用できる。この事業は、本年3月に創設された社会資本整備総合交付金を他市町村に先んじて活用しようとするものであり、行政の安全・安心を考える気持ちに敬意を表する。議会への説明不足もあつたが、町民への安全・安心への利益は計り知れない。今後各団体と打ち合わせをし、事業の詳細設計をするとのこと、住民にとってありがたいことである。



請願の審査結果

請願番号	件名	請願者名	本会議の議決結果		
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 關 英昭	教育民生	採択	○
請願第3号	「国における平成23(2011)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 關 英昭	教育民生	採択	○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

町長より4件の行政報告がありました。(要旨)

第5次総合計画の策定について

第4次総合計画は平成23年度で計画期間が満了することから、平成22年度及び平成23年度で次期総合計画を策定するため、庁内に総合計画策定本部会を設置しました。

今後は、これまでのまちづくりの成果の上に、住民福祉の一層の向上と各地域の均衡ある発展を図るため、「町民意識調査」や「地域別懇談会」「分野別懇談会」などを行い、町民の皆さんの生活や意識の変化、ニーズを的確に把握し計画に反映させていくこととしています。また、「総合計画懇談会」を設置し、町民との協働による計画づくりを一層推進していくこととしています。

議会においては、基本構想の議決を求めることとなりますが、策定過程で、全員協議会や議員インタビューを通じて十分な意思疎通を行い、様々な観点から意見や提案を受けることとしています。

全国小さくても輝く自治体フォーラムの開催について

「全国小さくても輝く自治体フォーラム」は、急速に進む少子高齢化、地域主権改革の推進や規制緩和等により社会構造が大きく変わろうとしている中、また、財政が厳しさを増す中で小規模自治体が今後も住民に最も身近な地方政府としての役割を果たし、持続可能なまちづくりを進めていくための方策を提案していくため、毎年開催されているものであり、今年度第15回目の開催が9月25日(土)、26日(日)にプリミエール酒々井をメイン会場として開催することとなりました。

全国から首長、議員、自治体関係者、大学の関係者や住民など300人程度の参加が見込まれ、議論と交流を通して、酒々井町の未来につながる機会としたいと考えています。

第4回(仮称)酒々井町新産業団地計画及び(仮称)酒々井インターチェンジに関する事業調整委員会及び幹事会について

事業調整委員会及び幹事会が、千葉県、UR都市再生機構、東日本高速道路(株)、酒々井町が

出席し開催されました。

UR都市再生機構からは、酒々井南部土地区画整理事業の状況について、一部、仮換地指定及び建物移転補償契約の締結が完了したとの進捗状況の報告及び、オリックス不動産(株)との予約契約解除後の募集について、これまでの一括譲渡から賃借へと方針を変更し、約20ヘクタールを対象に、5月7日から賃借事業者の募集を開始したとの報告がありました。

申込期間は、5月27日、28日で、その後選考審査を行い、順調に推移すれば6月下旬ころには事業用地定期借地契約の締結となる運びであるとのことでした。

次に、千葉県からは、インターチェンジ北側アクセス道路と国道296号の交差点付近の改良工事に着手したとの報告がありました。

続いて、町からは、アクセス道路(町道墨・七栄線)の町施工区間について、インターチェンジ本体事業等との進捗と合わせながら進めている旨の報告をしました。

最後に、東日本高速道路(株)か

らは、本線工事に先立ち、県道及び町道の一部迂回などの準備工事を実施していく予定と報告がありました。

尚、UR都市再生機構からは、募集の結果、「応募があった」旨の報告を得ています。

ゆめ半島千葉国体の開催について

本年度は、千葉県で第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」が開催されます。

千葉県での国体の開催は37年ぶりであり、9月25日から11日間の会期により、正式競技・公開競技・デモンストレーションとしてのスポーツ行事あわせて65種目の熱戦が展開されます。

当町においては、県民を対象に国体に参加する共感を味わってもらうことを目的に、デモンストレーションとしてのスポーツ行事として、パークゴルフ酒々井大会を10月2日(土)、しずいの森パークゴルフ場において実施します。

この大会を成功させるため、関係団体で構成する実行委員会及び競技運営委員会を組織し、万全の状態で大大会運営に臨みます。



第4回駅前交流フェスティバル
孫と楽しむ夏祭り
7月31日(土)にJR酒々井駅前駅前ロータリーを会場に駅前交流フェスティバルが開催されました。ロックソールなど多様なアトラクションやおにぎりやとん汁などのサービスもあり、多くの方でにぎわいました。

平成22年度 補正予算額 (単位:千円)

会計名	補正前	6月補正額	補正後
一般会計	5,140,293	269,189	5,409,482

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果
1	専決処分の承認を求めることについて（税賦課徴収条例）	なし	原案可決 ○
2	専決処分の承認を求めることについて（都市計画税条例）	なし	原案可決 ◎
3	専決処分の承認を求めることについて（国民健康保険税条例）	なし	原案可決 ◎
4	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	なし	原案可決 ◎
5	千葉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	なし	原案可決 ◎
6	印旛郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	なし	原案可決 ◎
7	印旛利根川水防事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び印旛利根川水防事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	なし	原案可決 ◎
8	平成22年度酒々井町一般会計補正予算（第1号）	※	修正可決 ○
9	工事請負契約の締結について	経済建設	原案可決 ◎
10	工事請負契約の締結について	教育民生	原案可決 ○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。（※）は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

議案第8号平成22年度酒々井町一般会計補正予算（第1号）に対する修正動議（議員発議）

内容	発議者	本会議の議決結果
[中川流域防災事業（土地鑑定評価の委託料）についての減額修正案] 中川流域防災事業（土地鑑定評価の委託料）に要する費用1,445千円を減額するもの	岩澤 正 議員 菊地 宏 議員 竹尾 忠雄 議員 地福美枝子 議員 原 義明 議員	修正案否決 ×
[中央台公園再生事業（委託料及び工事請負費）についての減額修正案] 中央台公園再生事業（委託料及び工事請負費）に要する費用18,000千円を減額するもの	原 義明 議員 内海 和雄 議員 川島 邦彦 議員 菊地 宏 議員 竹尾 忠雄 議員	修正案可決 ○
[中央台公園再生事業（工事請負費）についての減額修正案] 中央台公園再生事業（工事請負費）に要する費用12,800千円を減額するもの	篠田 誠 議員 齊藤 博 議員	修正案否決 ×

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

発議案と議決結果（議員提出のもの）

番号	件名	提出者名	本会議の議決結果
1	コメの戸別所得補償対策等の見直しを求める意見書の提出について	平澤 昭敏 議員 他1名	原案可決 ◎
2	酒々井町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	平澤 昭敏 議員 他5名	原案可決 ◎
3	酒々井町議会公印規定の一部を改正する訓令の制定について	平澤 昭敏 議員 他5名	原案可決 ◎
4	義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書の提出について	教育民生常任委員会 委員長 篠田 誠	原案可決 ◎
5	国における平成23（2011）年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	教育民生常任委員会 委員長 篠田 誠	原案可決 ○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

町の考え

そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

6月定例会の一般質問は、9日と10日の2日間に9名の議員が、酒々井南部地区新産業団地、子育て支援など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

6月定例会の会議録は、9月上旬以降、閲覧することができます。

問

エレベーター設置予定の告知を

答

早急に対処する

御園生 浩士 議員

問 JR酒々井駅東酒々井側のエレベーターが設置されたが、駅ホーム内と中央台側にも設置予定があることを、現在のエレベーター内または入口に告知する考えがあるのか伺う。

町長 中央台側やJR東日本が設置する駅ホーム内のエレベーターについては、今年度中に工事を行うことを既に広報ニューしすいでお知らせしているが、ご指摘のように現地でのPRも大事であると思うので、早急に対処する。



保育園、小中学校における集金状況

問 給食費等の滞納がある場合は、どのような理由が多く、町ではどのような改善・行動・対処をしたのか。また、結果内容についても伺う。

教育長 滞納理由として、保育料については、住宅ローンなどの借金返済を

優先していることや納付意識が薄いこと等で、給食費については、収入が少ない、経済的にゆとりがない等が主なものである。改善策として、保育料は、園児の送迎時や臨戸徴収等、機会をとらえて納付への理解に努めている。給食費は、通知の送付、臨戸徴収、教職員から直接保護者に働きかけている。こうした滞納対策により、過去5年間の滞納繰越分については、保育料が約380万円、給食費が約133万円を徴収したところである。

小規模事業者への発注について

問 町の地域振興、活性化、町内業者育成の観点から、小規模事業者の受注機会を増やすため、登録制度を設けるは如何か。

町長 競争入札参加資格審査の申請が困難な町内の小規模事業者に対し、小規模な建設工事及び修繕の受注・施工ができるよう機会の拡大を図ることに、さらなる事業者の育成や地域経済の活性化に繋がると思われるので今後、小規模事業者登録制度の制定に向け調査研究をしていきたい。

問 ヒブワクチン・子宮頸がんワクチンの公費助成を

答 実施できる方向で検討する

平澤 昭敏 議員

問 乳幼児の細菌性髄膜炎の予防として、ヒブワクチンがあるが、保護者からは高額のため接種できないとの声が聞かれる。また、若い女性の発症が多い子宮頸がんを予防するためのワクチンについても高額であるため、必要性を感じても接種できないのが現状である。こうしたことから、公費助成を行う自治体が広がっているが、町の考えについて伺う。

町長 ヒブワクチンは、予防接種法に定める定期の1類予防接種ではないため、国が積極的な接種勧奨を行っていないことや、現状ではワクチンの確保が困難であることから、公費助成を行っていないが、子育て支援、次世代育成の観点からも、だれもが接種可能な環境づくりが必要と考えている。子宮頸がん予防ワクチンもヒブワクチンと同様に国が積極的な接種勧奨を行っていないことから、公費助成を行っていないが、今後、国・県・近隣市町村の動向を見極めながら、必要な財源、接種方法、助成方法などを調査しながら実施できる方向で検討する。



整備補修を計画している自由通路

JR酒々井駅自由通路について

問 電車で酒々井町を訪れる方が最初に見るのがJR酒々井駅であるが、自由通路の汚れが目立ち、初めての印象がいいとは言えない。町の玄関でもあることから、自由通路の改装や整備補修等を提案するが、町の考えを伺う。

町長 自由通路は平成3年の供用開始以来約20年が経過することから、壁面等の汚れや塗装面の腐食が見られる状況にある。今後は、国の補助制度を活用して、整備補修等を行う計画である。

問 まちづくりの方向性とビジョンについて

答 行政と住民等が協働・連携して、新しい公共空間の形成を目指す

原 義明 議員

問 長期にわたる政策を盛り込む基本計画は持続可能性の高い計画立案は当然であるが、単年、3年毎に提言される実施計画や施政方針は基本計画を現実に至るプロセスで橋渡しの役割と考えるが、特に施政方針は直接住民の身近なニーズに応える政策を企画、立案と同様に具体的な目標値やビジョンを毎年その都度公開することは将来のまちづくりに重要であるので、平成22年度施政方針から次の2点について見解を伺う。

① 「新しい公共」とは、人と人が支え合うことであるので、協働や公共サービスに通じリンクする点多々と踏まえ、具体的な推進策と近々のまちづくりにおける役割とメリットについて伺う。

② 町の活性化に最も必須アイテムである中心市街地活性化と先進福祉「千葉県一」を目指す両者の整合性を具体化された時点のビジョンとプロセスに対して具体的な推進方法について伺う。

町長 ① 地域における住民サービスを行政だけで担うのではなく、住民やコミュニティ組織、NPO及び民間セクター等と行政が協働し相互に連携して、新しい公共空間を形成していくことを目指す必要がある。このことから、協働に関する考え方や進め方など基本的な方向性をまとめた指針づくりを今年度から2年かけて進めていく計画であるが、今年度は協働についての理解を深めることを目的として、住民及び職員を対象とした研修会を予定している。

② 先進福祉「千葉県一」のモデルまちづくりとして、中心市街地の活性化やバリアフリー化をはじめとした「町の顔づくり」などに取り組んでいくことを考えているが、町民と行政が協働・連携して取り組むにあたって、「酒々井町先進福祉ビジョン懇談会」を開催し、高齢者や障害者をはじめ、全ての町民が「酒々井町に住んでよかった」と思える地域社会の創造を目指して重点的に取り組むべき事項について、意見を伺いながらビジョンを策定していきたいと考えている。

問 南部開発事業からの収入は20年以上バランスしない

答 税収を見出す努力は当然必要

齊藤 博議員

問 ① 町長は、議会答弁で「南部開発事業は社会資本整備である」と繰り返しているが、そのことは「費用対効果を考えなくて良い事業」であるという意味合いで発言しているのか伺う。

② 南部開発事業の総事業費は36億円。一方、事業からの税金収入は7億円あるという当初の推計と違い、その4分の1（1億7,500万円）程度になる。従って、費用対効果つまり事業の収入は今後20年以上バランスしないと思う。町民の不安を解消するためにも、町は事業のバランスシートを町民に明らかにすべきと思うが如何か。

③ 本年3月議会にて町長は、「南部開発事業は経済的合理性を欠き、町民に多大な負担を負わせるので、今後の公金支出を止めること及び町議会の議決を得ない違法な用地買収の是非等が問われている住民訴訟」に関し、「言いがかり」「政治的」と発言をした。被告、原告と立場は違うが、いやしくも町長が町民に発する言葉としては不見識極まるものである。「言いがかり」とする根拠は何か。

町長 ① 公共事業の性格からして、投下した資本は税金として長期にわたって回収する。このため民間にできないことを行政が行う。これらを総称して社会資本整備と言っている。

② 山林や農地等が整備され、都市化が図られた場合、1億5千万円を見込んでおり、土地区画整理の進捗、土地利用の状況に応じて賦課されるものである。今後、税収が減る中で、町民に負担をかけない中で税収を見出していく努力は当然必要である。7億円の話は直に入るものではなく、地域が完成した時点を想定している。

③ 監査請求では、齊藤議員の言うとおりの内容が趣旨だったが、住民訴訟では内容がかなり乖離している。請求の趣旨をたびたび変更し、ある意味では訴訟の進行を遅らせている感がある。また、訴訟の中に協力している議員がいることが伺える。本当に監査請求の趣旨だけを論ずれば裁判は早く進むものと考えられる。あくまでも感想という意味で申し上げたものであり、断定したものではない。

問 町民総意のマニフェストづくりをめざそう

答 町民参加のもと、総合計画を策定する

川島 邦彦議員

問 第5次酒々井町総合計画（平成24年度）策定の取り組みについて

① 本年度実施する住民意識調査の時期、方法、住民周知等を伺う。
② 庁内の「総合計画策定本部」や公募の「総合計画懇談会」等組織の役割を伺う。また、意識調査等さまざまな意見の調整と手順を伺う。
③ 長期都市計画である都市マスタープランとの整合性を伺う。

④ 全体の策定スケジュールを伺う。
経営企画課長 ① 7月広報で総合計画への取り組み等を周知し、住民意識調査は2千人を無作為に抽出して7月中旬頃に実施したいと考えている。

町長 ② 総合計画策定本部内で意見集約されたものを総合計画懇談会に提示し、意見や提案をいただく。

経営企画課長 ② 総合計画懇談会からの意見や提案を必要に応じてコンサルタントや知識経験者の意見を踏まえ、取りまとめていくことになる。

③ 総合計画の策定状況を踏まえて、都市マスタープランを修正していく。
④ 各手順を経て、平成23年12月議会

に諮り、策定したい。

生活支援の取り組みと機能強化

問 経済・雇用の停滞が続く中で生活支援機能の強化を求める観点で伺う。

① 生活全般の困りごとの相談等を一元化した「窓口」を設置したらどうか。
② 腰掛けて、かつプライバシー配慮の相談コーナー等の環境整備を望む。

③ 地域包括支援センターは介護従事者の相談も実施すべきではないか。

④ 民生委員・社会福祉協議会等との連携強化や個人情報共有化で支援の拡大を推進すべきではないか。

町長 ① 健康福祉課に来て頂ければ対応できる形になっている。

② 今年中に健康福祉課や住民課等の窓口を改修する。町民相談室等の個室もあるので活用していきたい。

③ 地域包括支援センターは、高齢者福祉の総合相談窓口であり、介護従事者等からの相談も受け付けている。

④ 両者は、お互いに協力して事業を進めている。また、同意を得た75歳以上一人暮らし高齢者の情報の共有化を進めているが、更に連携を強化したい。

問 まちづくり第2ステージについて

答 先進福祉「千葉県一」のモデルまちづくり等を進めていく

佐藤 修一議員

問 3月議会の施政方針の中で、まちづくりの目標第二ステージとして、中心市街地の活性化、バリアフリー化を始め、「まちの顔づくり」など先進福祉「千葉県一」のモデルまちづくりを進めるとの説明がなされた。そこで次の点について伺う。

① 中心市街地の活性化やバリアフリー化の対象地域をどの様に考えているのか。また、総合計画策定を迎え、都市計画や都市マスタープランとの整合性から用途地域の変更を含む現況市街地の再検証が必要と思うが如何か。

② 先進福祉「千葉県一」のモデルまちづくりは、町民には詳細が見えず、「この酒々井町で?」と思っている人も多い。行政は詳細な説明等を行う必要があると思うが町の考えを伺う。

③ JR酒々井駅東口の東酒々井商店街は、殆どがシャッターを閉めている。まちづくりの観点から、この地区の活性化策の検討が必要と思うが如何か。

町長 ① 中心市街地の活性化やバリアフリー化は市街地全般に及ぶものと考えているが、限られた予算の中で効

率よくまちづくりを進めていくためには、国道51号を挟むJRや京成両酒々井駅周辺地区は交通量も多く安全対策の面からも優先的に整備していかねばならないと考えている。現行の用途地域を変更するには、日影問題等住環境への配慮が最も重要であり、隣接地との間に空地が確保される再開発事業などにより、土地の集約化が図られることが前提ではないかと考えている。今後、中心市街地で再開発事業などの動きがあれば、町としても積極的に検討していきたい。

② 先進福祉「千葉県一」のモデルまちづくりを推進するにあたり、「酒々井町先進福祉ビジョン懇談会」を開催し、全ての町民が「酒々井町に住んでよかった」と思える地域社会の創造を目指して重点的に取り組むべき事項について、ご意見を伺いながらビジョンを策定していきたいと考えている。

産業課長 ③ 駅周辺の活性化は、町全体の活性化につながるものと考えているので、様々な観点から検討していきたい。

問 施設入所希望者への対策は

答 施設の増床を協議・調整している

地福 美枝子議員

問 ① 要介護認定者の在宅、施設のそれぞれの人数を伺う。施設入所希望者に対し、現在どのような状況なのか。その見通しについても伺う。

② サービス利用料1割負担となっているが、最大限度額まで利用しない人はどのくらいいるのか。その把握をしているのか伺う。

③ 医療費がかかる大きな出費となり、収入のない人、少ない人には、介護保険料の負担も大きい。経済的負担の軽減を図るべきではないのか。

④ 介護保険の現状から、町として改善すべき点、国に要望したい点は何か。

健康福祉課長 ① 居宅サービス受給者数は299名、施設サービス受給者数は96名おり、施設入所希望者は64名いる。町としては、施設の増床を関係機関と協議・調整をしている。

② 介護の利用は、本人、家族の状況等にも大きく影響され、同じ受給者を見ても、利用月によって様々であり、人数の把握はできないのが現状である。

では、本人負担額が高額となった場合の軽減措置が既に実施されている。

町長 ④ 居宅介護事業の充実や施設サービスの必要性は認識している。円滑で安定した介護事業を運営する上で、必要に応じて要望等していきたい。

平和問題について

問 ① 平和都市宣言をしている酒々井町だが、世界で非核の機運が高まっている中で、非核をつけるべきではないか。町長の見解を伺う。

② 普天間問題から米軍基地、安保条約まで、現在の日本はアメリカとの関わりを根本から考える状況にある。このような非核問題、核抑止力について、町長はどのように考えているのか伺う。

町長 ① 平和都市宣言本文で核兵器について触れているので、今のところ考えていない。

② 今年3月に平和市長会議に加盟し、併せて「ヒロシマ・ナガサキ議定書」に賛同する都市アピール署名に協力した。米軍基地問題は日本全体で考える問題であり、核抑止力に関しては政府の動向を注視したい。

問 3校の耐震補強工事の一括発注は乱暴な発注ではないのか

答 諸経費も下がり、住民負担も少なく済んだ

竹尾 忠雄 議員

問 酒々井小学校・大室台小学校・酒々井中学校、3校の耐震補強工事を一括発注した方が一般論としては「スケールメリット」(安くなる)があると思う。しかし、今回の学校耐震補強工事は一般土木工事とは全く違う。学校は児童・生徒にとって一日の大半を過ごす学習生活の場である。質疑でこども課長は、「夏休みに集中して工事を行いたい」と答弁した。学校を預かる教育委員会としては、児童・生徒に迷惑が掛からないように工事を進めることが一番の願いであり、工事費の高い、安いの問題ではないと思う。工期は、平成23年2月28日となっており、分割発注すれば夏休みに集中して行うことにより、工期も短縮することができる。工法も3校同じでなく、設計金額も約6億円という多額な事業からしても、学校毎の分割発注をするべきであり、一括発注は乱暴である。町長は「酒々井町という同じ場所」、「分割した方が高くなる」と答弁したが、町長は一括発注で「スケールメリット」があつて良かったと思つているのか。



町内小中学校の耐震補強工事と大規模改造工事が行われます。
※写真は酒々井小学校北校舎

町長 1校ずつ諸経費をかけるより、3校を一緒にして諸経費をかける方が経費的には下がる。また、入札に応札した会社は実績があり、適正な競争が働いたと考えている。工事を3校同時に行わなければならない時には工程をきちんと打ち合わせをして、その時に集中して工事を行えば特に問題はない。結果として金額的に町民負担が少なく済んで良かったと思つている。

問 町の防災対策への取組について

答 町と自主防災組織等の連携を強固に

岩澤 正 議員

問 ① 鳩山首相が辞任した。これは普天間問題、暮らしの問題等で次々と公約を裏切り、国民の怒りに包囲されたからではないのか。後期高齢者医療制度撤廃の先送り、労働者派遣法の改正としながらも、財界の圧力に属し、抜け穴だらけである。参議院議員選挙を前にして、町民の暮らしを守るために、後期高齢者医療制度、国民健康保険(以下国保)、小零細業者、農業等の施策について町長は国政に何を望んでいるのか。

② 南部地区開発で、社会資本整備として、アクセス道路建設を進めているが、誰のための整備なのか。都市再生機構(以下UR)に対して「財源確保、雇用の創出、地域経済の活性化」につながる提案をし、見通しがつくまでは、社会資本整備を中止するべきである。

町長 ① 後期高齢者医療制度については、「高齢者医療と国保の一体運営案」が検討されている。国保は、年々複雑になる制度内容が簡潔で分かりやすい制度になるよう切望している。中

小零細業者施策としては、国に景気回復策を強く望む。農業等の施策については、農業経営の持続的な安定が確立できる施策を展開していただきたい。

② URには、地域経済の活性化に資する核となる施設の誘致をお願いしている。インターチェンジやアクセス道路等が整っていないと進出企業は来ない。当ての見えないものに投資している訳ではなく、着実に進めている。

地域経済の支援について

問 小規模事業者登録制度は、すぐに実施するべきでないのか。

町長 事業者の育成や地域経済の活性化に繋がると思うので、今後「小規模事業者登録制度」の制定に向け調査研究をしていきたい。

農業問題について

問 農業は生産者米価下落で危機的状況にある。町農業の実態を調査し、現実に役立つ施策が必要と思うが如何か。

町長 農家戸数の減少等、厳しい状況であるが、町としては、これらの諸問題を解消するため、関係機関等と共に、地域の特性を活かした、農業の一層の振興に努めていきたい。

その他の質問

平澤昭敏 議員

- ・簡易マザーズホームの設置について

- ・ごみ問題について

川島邦彦 議員

- ・子ども手当について

佐藤修二 議員

- ・南部土地区画整理事業企業誘致について

地福美枝子 議員

- ・保育園の充実について
- ・就学援助について

竹尾忠雄 議員

- ・中川治水対策について
- ・道路改良について

広報研究会

議会広報は

「ありのままに・わかりやすく」

7月30日(金)、千葉県自治会館において、市町村議会広報研究会が開催されました。

県内25市町村の広報編集委員等が一同に集まり研修が行われ、広報コンサルタント深沢徹氏より、議会広報を作成する上でのポイントとなる編集技術について講演がありました。

可能な限り詳細に掲載し、町民が読みやすくわかりやすい内容とするよう努力し、議会だよりを通してできるだけ多くの町民が議会に関心を持っていただけるような紙面づくりを今後も心がけてまいります。

広報コンサルタント ▶ 深沢 徹氏



森本議長が印旛郡町村議会議長会長等に就任



森本議長

この度、森本議長は、印旛郡町村議会議長会長・印旛郡市広域市町村圏事務組合議会副議長・千葉県後期高齢者広域連合監査委員に就任されました。

表紙の紹介

あした笑顔になあれ

〜夜回り先生のメッセージ〜

7月30日(金)に学校人権研修会・人権教育セミナー合同講演会がプリミエール酒々井で開催され、講師に「夜回り先生」と水谷修さんを迎えました。水谷さんは「夜回り」と呼ばれる深夜の繁華街のパトロールや、全国からの相談等で、子どもたちの不登校や心の病などの問題に関わっており、現場での経験をもとに子どもたちが今直面している様々な問題について訴えられました。

7月例会のお知らせ

お知りませ

次の定例会は9月上旬に開催する予定となっています。

会期の概要は、8月31日の議会運営委員会で決まります。会期などについては、議会運営委員会の開催日以降、議会事務局までお問い合わせください。

なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせしていきますのでご覧ください。

皆様の傍聴をお待ちしています。

詳しくは議会事務局まで。

☎ 496・1171

(内線251、252)